

追悼 童門冬二先生

昭和2年（1927年）10月19日～令和6年（2024年）1月13日
東海市立平洲記念館名誉館長・東海市嚶鳴広場名誉顧問

童門冬二先生に、東海市へ最初にお越しいただいたのは平成2年（1990年）に行われた平洲祭の講演会の際でした。以来、童門先生には30年以上の長きにわたり東海市とのつながりを大事にさせていただきました。平成17年（2005年）7月からは平洲記念館の名誉館長に就任いただき、様々な場面で郷土の偉人である細井平洲先生の業績を広く全国に向けて発信していただけてきました。さらに、平成27年（2015年）からは東海市芸術劇場内にオープンした嚶鳴広場の名誉顧問もつとめていただきました。

先生は生前、サインを頼まれると必ず「恕^{じょ}」という文字を添えていらっしやいました。先生はこの「恕」という言葉は、「相手の立場に立って物事を考えること」、「自分の持っているやさしさ、思いやり、温もりの量の多いこと」と言う意味合いであり、「日本人の心」であるとおっしゃられていました。さらに、現代に生きる細井平洲先生の教えもまた、「恕」の精神であると度々述べられています。

そして、童門先生御自身もまた、「恕」の精神を体現される方でありました。童門先生に接した方はみんな、先生の、相手の立場に立った言葉、おもいやり、やさしさに触れたことと思います。

童門先生が生涯をかけて伝えてきた「日本人の心」である「恕」の精神は、これからも私達が大切に次の世代へと伝えてまいります。

童門冬二先生、これまで本当にありがとうございました。先生の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

令和7年（2025年）1月13日
東海市長 花田勝重